

通信マネージャ (CUCM) 自己注意ポータル の設定表示名

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

文書化されていますこれは通信マネージャ (CUCM) で導入される新しい表示名機能を 11.5 説明しています。 CUCM エンドユーザ 設定 ページの代わりに今自己注意ポータルの個人的なディスプレイ名前を割り当てることができます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified CallManager エンドユーザ 設定
- Cisco 自己注意ポータル

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は基づいた on Cisco CallManager 11.5 およびそれ以降です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークがライブあらゆるコマンドの潜在的影響を理解するようにして下さい。

設定

自己注意ポータルの設定表示名

ステップ 1. 必須資格情報が付いている自己注意門脈ページへのログイン。

ステップ 2. **全般設定 > 表示名**へのナビゲート。

表示名イメージ

▼ Display Name

Enter the Display Name you want others to see.

Display Name:

▼ Conference Now

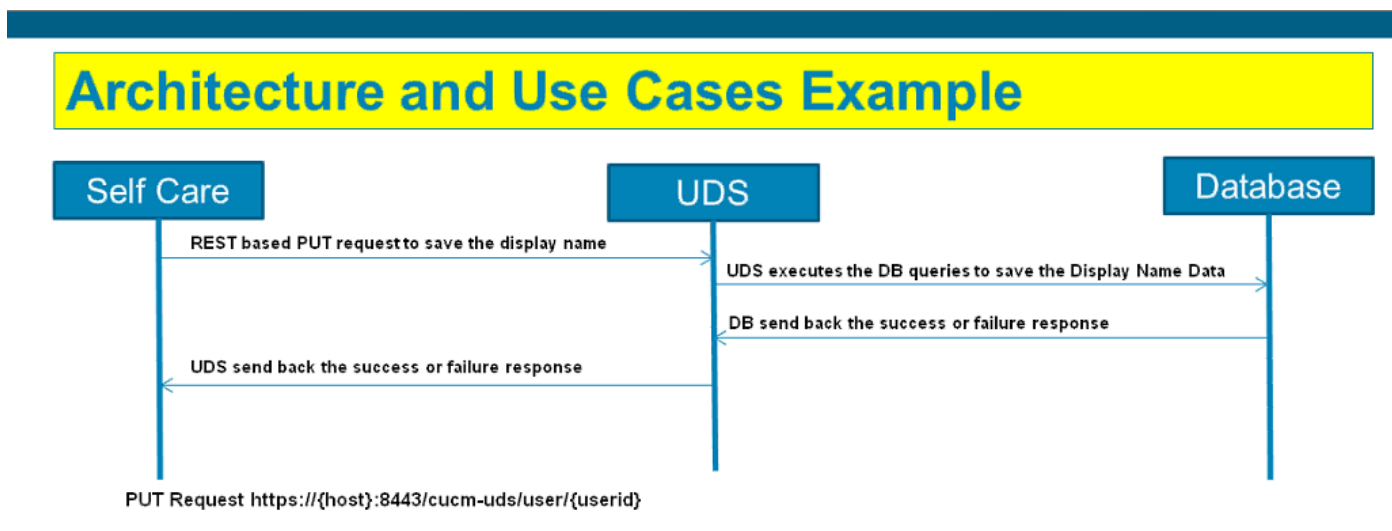
ステップ 3.必要な値を領域で入力し、『SAVE』を選択して下さい。

注: LDAP に関しては統合ユーザは Display Name フィールド選択不可能になり、編集することができません。

ステップ 4. CUCM エンドユーザ設定管理 ページ アップデートのエンドユーザ設定 ページを『SAVE』を選択するとすぐ。

自己注意ポータルと CUCM 間のアーキテクチャ

CUCM と自己注意ポータル間の通信はユーザのデータ サービス (UDS) として知られている RESTful Application Programming Interface (API; アプリケーション プログラミング インターフェイス) によって基づく一組のオペレーションによって起こります。それはこのイメージで表されます:



UDS は自己注意ポータルで入力されるように表示名データを保存するために CUCM のデータベース クエリを実行します。

確認

特定のユーザ オブジェクトのためにブラウザからの XML ファイルを問い合わせして下さい。表示して下さい UDS が URL とデータ交換のために使用する XML ファイルを、

https://{host}:8443/cucm-uds/users?displayname=「 enter_text_here」

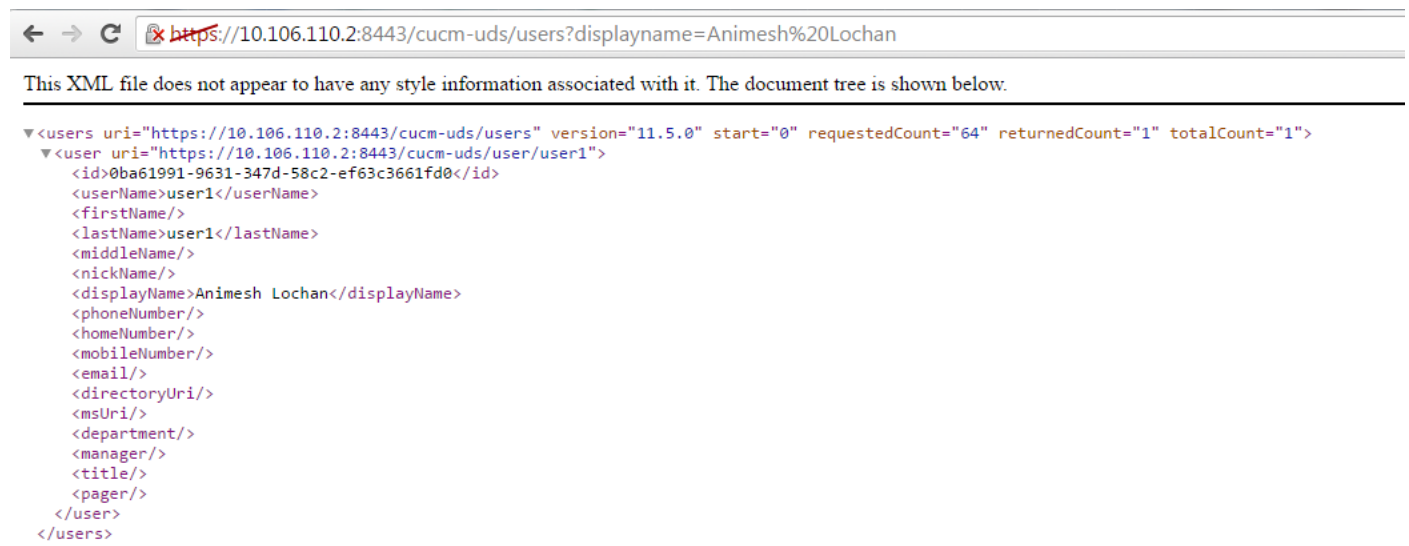


Image: 同じ値の Display Name フィールド (封じられたレッド) 自動的に更新は自己注意ポータル ページで入りました



End User Configuration

Save Delete Add New

Status

Update successful

User Information

User Status	Enabled Local User	
User ID*	<input type="text" value="user1"/>	
Password	<input type="password" value="....."/>	<input type="button" value="Edit Credential"/>
Confirm Password	<input type="password" value="....."/>	
Self-Service User ID	<input type="text"/>	
PIN	<input type="password" value="....."/>	<input type="button" value="Edit Credential"/>
Confirm PIN	<input type="password" value="....."/>	
Last name*	<input type="text" value="user1"/>	
Middle name	<input type="text"/>	
First name	<input type="text"/>	
Display name	<input type="text" value="Animesh Lochan"/>	
Title	<input type="text"/>	
Directory URI	<input type="text"/>	
Telephone Number	<input type="text"/>	
Home Number	<input type="text"/>	
Mobile Number	<input type="text"/>	
Pager Number	<input type="text"/>	
Mail ID	<input type="text"/>	
Manager User ID	<input type="text"/>	
Department	<input type="text"/>	
User Locale	<input type="text" value=" < None >"/>	
Associated PC	<input type="text"/>	
Digest Credentials	<input type="text"/>	
Confirm Digest Credentials	<input type="text"/>	

トラブルシューティング

ステップ 1. 自己注意ポータルが表示名への変更が保存されることを確認して下さい。

ステップ 2. CUCM パブリッシャの Command Line Interface (CLI) のコマンド **utils dbreplication runtimestate** にデータベース複製問題がないことを確認して下さい。

ステップ 3 Cisco Unified Communications 自己注意ポータルにアクセスできる前に Cisco Unified Communications Manager 管理を標準 Cisco Unified Communications Manager エンドユーザグループにユーザを追加するのに使用して下さい。